

平成30年度 水質パトロール隊レポート

# 薬師川と猿渡川

～身近な川の水質調査を通して～



薬師川



猿渡川

刈谷南中学校

ボランティア部

## 1 はじめに

薬師川は、刈谷南中学校の近くにある川です。薬師川は、きれいな川だとイメージしていましたが、土が黒くて少しくさい臭いがするところがあり、何十年も前のヘドロが残っていると聞きました。

猿渡川は薬師川の300メートル南を平行に流れる川で、川幅の広い川です。薬師川は川下で猿渡川に流れ込みます。この二つの川を渡るとミササガパークという公園につきます。薬師川、猿渡川は私たちのなじみの川です。

そこで、私たちは薬師川と猿渡川の水質調査をすることにしました。

## 2 調査

日時 7月26日 木曜日 天気 晴れ

場所 薬師川 弥蛇坂橋付近

猿渡川 ミササガ橋付近

猿渡川

気温 36.3℃ 水温 28℃

薬師川

気温 36.1℃ 水温 29℃



### (1) 透視度

透視度計を使い、透視度を測りました。透視度計は、直径3cm、高さ30～100cmで下から水が抜けるようになっている透明な管の底に、二重十字の標識板がついたものです。水を入れて上から覗き込み、下の二重十字がはっきりと見えたとときの水位（単位は、cm）で表します。


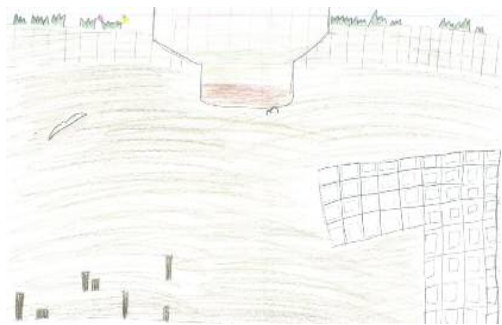


ランク	説明	透明度 ( cm )
A	ほとんど透明	100以上
B	透明に近い	70以上
C	少し濁っている	30以上
D	濁っている	30未満

結果は、

薬師川は100 cm以上、猿渡川は45.5 cmでした。薬師川はAランク、猿渡川はCランクということがわかりました。

(2) 川の様子

薬師川	猿渡川
	
川底は基本的にはきれいな砂。一部黒いヘドロが残っていて、くさい臭いがある。	川底はどろどろしている。
川幅は狭い。	川幅が広い。
流れはゆるやか。	流れはゆるやか。
護岸工事がされている。	護岸工事がされている。
川岸に草が生えている。	川岸に草はない。
ゴミが落ちている。	ゴミが落ちている。

### ( 3 ) 生 き 物

川に降りるのは危険だと思われたので、橋から観察しました。

#### 薬 師 川

- ・ ミシシッピアカミミガメ

50匹以上観察されました。

外来種で、在来種のすみかを奪っていて、全国的にも問題になっているそうです。



#### 猿 渡 川

- ・ トンボ
- ・ 鳥



### 3 結 果 から 分 か る こ と

- ・ 薬師川の水は透明なので、猿渡川の水よりもきれいだということが分かりました。
- ・ 猿渡川にも猿渡川にも生き物がいるので、それほど汚い水ではないと思いました。
- ・ カメはたくさんいたが、ミシシッピアカミミガメばかりでした。

### 4 川 が 汚 れ る 理 由



- ・ゴミを捨てる人がいるから。
- ・家庭で使った洗剤が流れているのではないかな。
- ・ヘドロがまだ残っているから。

## 5 わたしたちの取り組み

### (1) 川の周辺の草取りやゴミ拾い



### (2) 薬師川の浄化活動

川のヘドロをなくすために、地域の人と協力して、EM菌団子を使った浄化活動に取り組んでいます。地域の方はもう20年くらい継続的に行っているそうです。



まず、酵母菌など良性のいろいろな細菌を培養して作ったEM培養液を米ぬかに混ぜ、EM団子を作ります。それを一ヶ月間発酵させ、川のヘドロめがけて投げます。すると、団子の中に入っているEM菌がヘドロの浄化を助ける働きをします。

## 6 その他

カメにえさをあげる人がいて、ミシシッピアカミミガメが増えています。ミシシッピアカミミガメは、生殖力、生命力共に在来種より強いカメです。そのため、在来種が食料を巡る争いに負けてしまったり、住みかを奪われてしまったりして、在来種が減少してしまいます。水質には、あまり関係しないのですが、問題だと思えます。